

令和 元年 5 月 30 日現在

機関番号：32621

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2015～2018

課題番号：15K16864

研究課題名(和文)近世フランスにおける修道院の空間構成と社会的役割に関する基礎的研究

研究課題名(英文)Fundamental research about spacial composition and social function of the French abbeies in the early modern era

研究代表者

坂野 正則(SAKANO, Masanori)

上智大学・文学部・准教授

研究者番号：90613406

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文): フランス国立公文書館において、17-18世紀のベネディクト会系サン＝モル修族の名簿、規約類を収集。パリのポール・ロワヤル・デ・シャン修道院の不動産関連文書を収集した。オード県文書館およびナルボンヌ市立文書館において、修道院の活動と密接に関連した兄弟会に関する史料を収集した。ナルボンヌの兄弟会について、都市社会におけるトポグラフィの観点から、現地調査を実施した。また、パリでは、ポール・ロワヤル・デ・シャン修道院の現地調査を実施し、修道女と信徒との空間的関係性について新たな知見を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで日本で未開拓の考察対象であり、正確な歴史的知識の蓄積が少ない分野である、近世フランスの修道院が、空間的にどのような特徴を持っていたのか、単に閉鎖空間で祈祷と黙想の生活に専念しただけではなく、修道士の祈祷空間を保持しつつも多様な関係性を構築していたことを確認できた。ここで収集した史料群と撮影した画像を元にしたホームページを現在準備中であるが、これが完成すれば、研究者のみならず一般国民のこの問題への歴史的知見を高めることは確実であろう。

研究成果の概要(英文): 1 Acquisition of manuscript documents: some registers and some statutes of the Congregation of Saint-Maur (Paris and Toulouse). Documents and contracts related to the estate of Port-Royal-des-Champs, near Paris. Documents about the confraternities of Narbonne. (Archives departementale d'Aude, Archives municipales de Narbonne)

2 Field works: Spacial relationship between the cloister of the Abbey and the secular area of contemplated people in the Port-Royal-des-Champs. Topographical research of some confraternities in Narbonne.

研究分野：西洋史学、フランス史

キーワード：修道院空間 兄弟会 植民地 近世修道会 都市空間と修道院 修道院と信徒

1. 研究開始当初の背景

フランスにおける近世修道院研究は、護教的色彩が強く、各団体が分節的に論じられてきていた。さらに、日本では未開拓の研究領域に属していた。しかしながら、17世紀以降のフランスにおける対抗宗教改革運動の中で、多様な形態と活動を伴う修道会の創立は相次いだため、それらを総合的に把握し、社会へどのような影響を及ぼしたかを考察することは重要であろうという仮説にこれまでの研究の中からたどり着いた。

2. 研究の目的

近世フランスにおける修道院が、どのように社会へ影響を及ぼしたかを、「空間」「人間関係」「コミュニケーション」の3つの視角から明らかにする。とくに、修道院と信徒との空間の共有と分割、修道士の人物誌、中央と地方との人的関係に注目する。また、学術研究に貢献するのみにではなく、ホームページの作成などを通じて、近世フランスの修道院に関する正確な知識を閲覧できる方法を模索する。

3. 研究の方法

空間に関する史料として、絵図や各種図面史料を収集する。人間関係については、修道院の各種名簿や契約書類をはじめとする文書史料の収集をおこなう。コミュニケーションについても、書簡などの文書史料を収集する。また、文書史料の調査と同時に修道院の現地調査をおこない、信徒の利用空間との接触状況の復元やホームページ・データベース構築のための画像資料を撮影する。

4. 研究成果

史料調査：フランス国立公文書館において、17 - 18世紀のベネディクト会系サン＝モル修族とよばれる改革運動に従事した修道院集団の名簿、規約類を収集。パリのポール・ロワヤル・デ・シャン修道院の不動産関連文書を収集。「中央と地方とのコミュニケーション」に関連しては、ラングドック地方のオード県文書館およびナルボンヌ市立文書館において、修道院の活動と密接に関連した兄弟会に関する史料を収集した。

現地調査：ラングドック地方のナルボンヌの兄弟会について、都市社会におけるトポグラフィの観点から、現地調査を実施した。また、パリでは、ポール・ロワヤル・デ・シャン修道院の現地調査を実施し、修道女と信徒との空間的關係性について新たな知見を得た。

現地研究者との学術交流：史料調査や現地調査でフランスへ渡航する機会を利用して、複数回にわたる面会をおこない、有益な助言を得ることができた。

当初に計画していた海外調査（史料・現地）と研究文献や資料の収集と整理はほぼ完了できたが、研究期間内にはその一部しか成果を公表できなかった。また、ウェブサイトも整備中である。これらの完成に努めたい。

また、当初視野に入れていなかった植民地社会をも加えた新たな視点を発見することができたため、今後の研究に活かしたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計5件)

坂野正則「時間と空間から再考する「西洋」 - 建築史学と西洋史学との協働の軌跡 - 」『2017年度日本建築史学会大会建築歴史・意匠部門研究協議会資料』(2017年) 59頁。査読無

坂野正則「報告 フランス初期宗教改革再考 - 改革・教会・信仰」『キリスト教史学』72号、2018年、44 - 52頁。査読無

坂野正則「『ルイ14世の死』再考 - 300周年記念事業と映画制作を越えて - 」『上智史学』63号、2018年、123 - 139頁。査読無

坂野正則「近世フランスの植民都市とカリブ海域 - アンティル諸島とミシシッピ・デルタをつなぐ「都市と領域」」『都市史研究』5号、2018年、76 - 84頁。査読有

坂野正則「17・18世紀フランスにおける宗教楽成の歴史的背景」『礼拝と音楽』179号、36 - 40頁。査読無

〔学会発表〕(計 4 件)

坂野正則、日本建築学会建築歴史・意匠委員会都市史小委員会シンポジウム「18世紀メドック地区における「アイリッシュ・ドメーヌ」(2015年12月11日、法政大学)

坂野正則、上智大学史学会「「宗教」からみる近世フランス史」(2016年4月16日、上智大学)

坂野正則、日本キリスト教史学会第68回大会・公開討論「フランス初期宗教改革再考 - 改革・教会・信仰 - 」(2017年9月16日、聖心女子大学)

坂野正則、都市史学会大会・シンポジウム「近世フランスの植民地都市とカリブ海域」(2017年12月10日、東京理科大学)

〔図書〕(計 0 件)

なし

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等 現在制作中。

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：なし

ローマ字氏名：

所属研究機関名：

部局名：

職名：

研究者番号(8桁)：

(2)研究協力者

研究協力者氏名：なし

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。